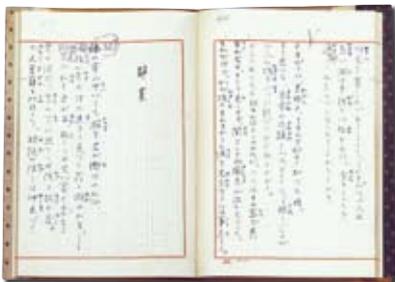


特集

ラファエロ前派の絵画と詩歌



右／「世界の光」(W. ホルマン・ハント) 中央上／「眠り姫」(バーン＝ジョーンズ) 中央下右／「グウィネヴィア妃」(ウィリアム・モリス)
中央下左／「プロセルピナ」(D. G. ロセッティ) 左上／「静畫(自筆原稿)」(蒲原有明) 左下／三詩集の初版本(蒲原有明)

CONTENTS

■特集 「ラファエロ前派の絵画と詩歌」 森松 健介(名誉教授)

■Library Navigator 「一身にして二生を経る ～EEBからEEBO・ECCOへ～」

見市 雅俊(図書館長)

■新収資料紹介 中央大学教職員著作目録・資料目録(2012.11～2013.5 収集分)

特集

ラファエロ前派の絵画と詩歌

森松 健介 (名誉教授)

「ラファエロ前派同盟」(the Pre-Raphaelite Brotherhood)の創立は1848年9月。Brotherhoodには信徒会、同志会などの意味があり、社会的存在を強く主張する「協会」(Society, Association)よりも、このイギリス芸術集団は仲間相互の精神的結びつきを目指していた。この呼称は「ラファエロ後派」があるような印象を与えるが、これはラファエロ以前の宗教絵画に見られる精神的純粋性を尊ぶ派という意味だ。

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ (以下DGR)が中心となってこれが創立されるまでに、すでにこの会の方向性を定める幾つもの動きがあった。DGR自身は12歳で書いた長詩「鷺のヒュー卿」(青鷺の羽根飾りを兜につけた武勇のヒュー卿は、賊から救ったピアトリス姫と相思相愛となり、彼女を別の貴族に預けて戦闘に出かける。その間、吟遊詩人の歌が卿の戦死を知らせたものと信じた姫に、姫の純潔を護ると卿に約束していた例の貴族が求愛。姫はそれを拒む。歴戦を勝ち抜いた卿が帰着。貴族を決闘で倒したのち卿と姫が再会)を43年、祖父に出版してもらい、友人に配布した(のちに彼はこれを廃棄するよう友人に頼んだ。僅かに生き残った中の一冊を今回当館が獲得した=図1)。

またDGRは1847年10月17日付ブラウニング宛の手紙で、匿名の長詩『ポーリン』は先生作品かと尋ねた(Fredeman編『書簡集』I, 45-6)。ブラウニングは夫人となる詩人エリザベス・バレット(六歳年上で病弱、名作『オーロラ・リー』の作者)と純愛の駆け落ち中。帰国後の返事で、作者は自分だが書店から撤去した、だが貴君に認められたから満足だと述べた。同じようにDGRは見知らぬ名人に平気で手紙を出す気性から、48年3月には画家フォード・マドックス・ブラウン(以下FMB)に、その画業を褒めそやす手紙を出した。FMBはからかわれたと思ひ、棍棒を持ってDGRを訪れたが、彼の称賛が本物と判ってその場で彼の師となった(同書簡集58-9)。DGRはこの頃学んでいた王立アカデミーの慣習

に反撥、FMBの家に住み込んで学んだがなお飽きたらず、9月にウィリアム・ホルマン・ハント、ジョン・エヴェレット・ミレイなどと、この「前派同盟」を結成した。だが43年以降、名著『近代画家論』を書いていたジョン・ラスキン(生涯、物質主義反対の論陣を張った)は早くから《ラファエル前派》の呼称を用いた。彼の『ラファエル前派主義』の、御木本隆三本邦初訳で和紙を紐綴じした貴重書=図2も当館は所蔵している。51年にラスキンは新聞『ザ・タイムズ』で、二度にわたってこの派を応援したのは有名だ。



図2

FMBの影響 FMBはイタリアに住んだ1845年、敬虔で原始的な(ラファエロ以前の)宗教感情を絵に表現

するために、ドイツから逃れてイタリアに来ていた「ナザレ派」の画家から大きな影響を受けた。図3(1847作)はウィ



図3

クリフが最初の英訳聖書を、英国詩の父祖チョーサーとガウワーに読み聴かす情景を描いている。FMBは「前派同盟」の一員ではないが、この

絵に見られる純粋な宗教精神の表現が「同盟」の大きな影響源になった。この感情をDGR自身は次頁の図4(1848-9作)等で、またミレイは「両親の家のキリスト」(1849作)で、ハントは世の光をもたらすキリスト像(表紙右、1853作)で表現した。この複製を多くの英国教会が飾った。

「前派同盟」の機関誌 1850年、彼らは芸術誌『芽ばえ』^{ザ・ジャーナル}を発刊した。副題は「詩歌、文芸、美術に見る《自然》に向かう思考」である。その第一号の表紙にはDGRの弟ウィリアム・マイクルの14行詩も掲載。DGRは第一号に、中



図4

編小説「手腕と魂」(‘Hand and Soul’。単行本となった美本も当館が所蔵。ラファエロ以前の、世に忘れられた画家が自信喪失に陥ったとき、自分の魂が美女となって現れ、神とともに貴殿の手と魂を人に捧げよ、私を絵に描いて常に私が貴殿の前に立つようにせよと激励される)を、第二号には1847年に書かれた(と弟が語る詩)「浄福の乙女」

を寄稿した。第三号からは雑誌名を『美術と詩歌』に変更。目次右の見開きは弟ウィリアム・マイクル・ロセッティの『リア王』(図5)で、左の悪女ゴネリルとリーガン、右の優しいコーデリアとリアが道化を扶む。弟は四季の情景詩も寄稿し、兄の「カリオンの鐘」、太古からの時の経過を告げる波を歌う「海の崖」の二編の詩と並べている。だが機関誌(初版を当館が入手)は四号で終わった。



図5

文学と絵の協働 四号で終わったとは言え、詩や劇を絵画で、また絵画を詩で拡張する技法はその後のイギリス芸術の模範となった(ミレイの「オフィーリア」がその先駆=図6、1851-2作)。またDGR兄弟と美術評論家ギルクリスト夫妻の



図6

努力は、埋もれていた大詩人ブレイクの発掘(ブレイクも詩と絵画を併せ表現。ギルクリスト夫妻の『ブレイク伝記』出版は1863年。これを受けて詩人スウィンバーンの『ブレイク論』[66年]が出た)に繋がった。

また「前派同盟」の画家たちはダンテ、シェイクスピア、キーツ、テニスンなどの有名な詩文を絵画化した。こうして、ハントの「シャロット姫」=図7(1857画。テニスンの詩を絵画化した。鏡に映る影に飽きたらず、生身の美しい騎士を見て現実世界に乗り出し、悲劇に至る。)、DGR自身の「浄福の乙女」(天国から地上に残され悲しむ恋人を眺め降ろす乙女を歌った先の詩を表現。図8、1875-8作)等、有名絵画が多数描かれた。また絵や絵模様を入れた美しい詩集が続々と発刊された。「同盟」は間もなく、宗教感情から美女の描出(表紙参照)へと転



図7



図8

換する。女性美の表現に熱意全てをこれほどに集中した画派はほかにはない。

「同盟」の詩 DGRは詩人としても活躍した。103編からなる14行詩連作『生の家』(1848-70年)は、主として恋愛の甘美を扱いながら、生の神秘も歌う。だがこれを、詩は倫理観の表現でなくてはならないとするブキャنانの『肉体派の詩歌』(1871年)が「魂より肉体が偉大だと描いている」と非難した(同年DGRは徹底的にこれに反論した)。そしてこれは世紀末唯美主義の先駆となった。この14行詩の一編「静晝」(表紙の蒲原有明の自筆原稿左側はこの詩の訳稿)の一部を現代の言葉で訳せば「この翼ある一時を空から与えられ(中略)言葉もなく、胸と胸寄せ合い、相睦むこの一時 / 二重になった沈黙が、これこそ二人の愛の歌」。見事な描写だ。しかもこの連作の序詩は「詩は一つの刹那の記念碑 / 永遠なる魂が、なお死なないでいる死んだ時間に / 捧げつくす記念碑」という感動的な三行で始まっている(ただ『生の家』は難解で、批評家としても一流だった弟ウィリアムが1889年に丁寧な解釈文を記した)。こうした詩を愛し解説した日本詩人蒲原有明や日夏耿之介は、優れた詩行でDGRを訳した。当館は有明の3詩集初版本と「ロセッティ詩抄」の自筆原稿を所蔵している(表紙参照)。そして人生の重要な《一瞬》を記念碑のように詩に定着させるという想念は、その後20世紀になってハーディに受け継がれてゆく。だがDGRの特徴は、官能美の中に《重要な瞬間》を見出したことだった。

「同盟」のこの美的傾向は他の詩人にも大きな影響を及ぼし、DGRとともにブキャナンに非難されたスウィンバーンは『ライオネスのトリストラム』(1871-82年、本稿末尾も参照)でイゾルデの美しさを詳細な自然美を比喻として表現した。またDGRの当時の性道徳との対決は、ウィリアム・モリス(彼の『初期詩集』は図9)の詩「グイニヴィア妃の抗弁」(1858年)に繋がった。アーサー王の妃と騎士との恋愛は当時、書き始められていたテニスンの『王の牧歌』(ヴィクトリア朝の性道徳の崩壊を警告)によって不倫とされていたが、モリスは妃に自己弁明を歌わせた。

しかしDGRの妹クリスティーナ・ロセッティはより深



図9

ながら、献身的な家族愛に救われる少女を、「王子の旅路」(図10, 1866年)は誘惑に負けて道草をし、王子の到着を待ちわびていた恋人の死後によく辿り着く男を、寓意的に

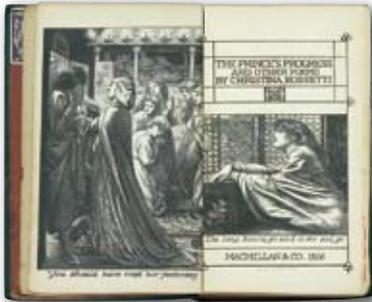


図10

描くことになる(1例は表紙参照)。だが師ロセッティの画風を発展させて美女群像として示したのはバーン=ジョーンズであった(図12。画集にはめったに見られないこの図はウォータズとハリソン著、川端康雄訳『バーン=ジョーンズの芸術』に依った。表紙上段の図も同書より。「眠り姫」は「ブライアー・ローズ」連作の4、《薔薇の部屋》)。彼の芸術の美点はその幻想性と万人の人生を示唆する象徴性にある。例えば図12は、美の女神

す短詩にある。

《後期ラファエル前派》「同盟」は1854年には実質上解散した。しかし後期ラファエル前派とあとで呼ばれる集団が、1858年に「ホガース・クラブ」(展覧会場確保のための集団)として結集し、美の追究に全てを捧げることになる。だがそれより前の56年、バーン=ジョーンズがロセッティを慕ってアトリエを訪れ、師弟関係を結ぶと、バーン=ジョーンズの親友、上記のモリスも彼に加わった。モリスは早くも58年に、美人画の傑作「グウィネヴィア妃」を描いた(表紙参照。背景の青がよく見える、例えばローランス・デ・カール著・高階秀爾監修・村上尚子訳の『ラファエル前派』75頁参照。なおこの絵は「美しきイゾルデ」とも呼ばれる)。ロセッティ自身も、男性の視線よりもキリストの輝きに目を奪われるマグダラのマリアを、宗教画+美人画(図11)として描いたのを初め、極めて多数の女性像



図11

を描くことになる(1例は表紙参照)。だが師ロセッティの画風を発展させて美女群像として示したのはバーン=ジョーンズであった(図12。画集にはめったに見られないこの図はウォータズとハリソン著、川端康雄訳『バーン=ジョーンズの芸術』に依った。表紙上段の図も同書より。「眠り姫」は「ブライアー・ローズ」連作の4、《薔薇の部屋》)。彼の芸術の美点はその幻想性と万人の人生を示唆する象徴性にある。例えば図12は、美の女神

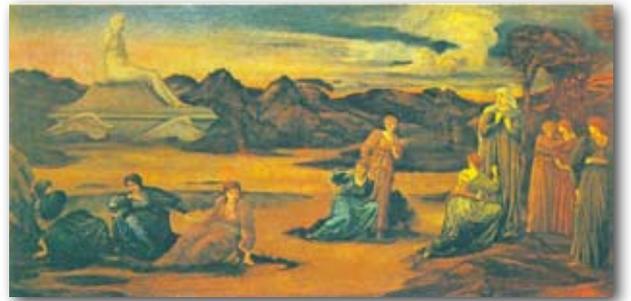


図12

ウェヌス(ヴィーナス)が飛び去ったあとの美の短命、人びとの恐れ、白雲を襲う黒雲の脅威が感じとられる。この点で、ラファエル前派が生みの親となった世紀末耽美主義とは微妙に異なる。ここで世紀末に至る文芸界を覗くなら、前記スウィンバーンの『ライオネスのトリストラム』は1882年の出版ではあるが、その「序の詩」(恋愛の絶対性を歌う)は71年にすでに世に出ている。後期ラファエロ前派の発足からこの71年までには、キリストの復活を否定した詩人クラブの『ダイサイカス』の没後出版(65年)、スウィンバーンの反キリスト教的傾向の強い『カリドンのアタランタ』(65年)と官能主義的な『詩と民謡、第一集』の出版(66年)、ウィリアム・モリスの唯美主義的な『地上の楽園』第一巻の出版(68年)、この作品への擁護論であるウォルター・ペイターの「匿名批評」(のちの73年『ルネサンス』の「結語」と同じ文章、つまり「死の意識によって促進される美への願望」の強調を含む)の『ウェストミンスター・レビュー』誌68年10月号への掲載、ロセッティの恋愛謳歌詩集の出版(70年)、モリスの『地上の楽園』の完成と出版(70年)など、神への懐疑から出発しながら、次第に反宗教的傾向よりも耽美主義を特色とするイギリス詩歌の傾向が固まる。この道筋を経て、ラファエロ前派運動は世紀末に繋がってゆく。

学生諸君の座右の書として、安価な良書・松下由里著『ロセッティとラファエル前派』六耀社を挙げる。(なお使用図版は全て当館所蔵書より)

中央大学図書館では、この特集と連動して『第20回中央大学図書館企画展示：ラファエロ前派同盟とジョン・ラスキン関係コレクション』と題する催しを開催いたします。この機会にぜひご覧下さい。

- ◆期間：2013年10月25日(金)～11月30日(土)
- ◆場所：中央図書館 2階展示コーナー

Library Navigator

一身にして二生を経る

～ EEB から EEBO・ECCO ～



図書館長 見市 雅俊

わたしの専門はイギリス史である。1960年代の学生時代から今日までおよそ半世紀、史料と関わってきたことになるが、紙媒体から電子媒体への急激な変化を、身をもって体験することにもなった。文字通りの「一身にして二生を経る」体験である。

1970年代の前半、わたしは貧しい大学院生だったが、その頃、イギリスで盛んに刊行されていた19世紀の新聞の「リプリント」を、奨学金とバイト代をやりくりし、さらに洋書を扱う極東書店の厚意で月賦にしてもらってなんとか購入できた。戦後日本の経済成長があって、「洋物」、それもメジャーではないものでも、どうにか入手できるようになっていたのである。

とはいえ、パソコンもなければ、コピーもまだ手軽に利用できない時代である。その新聞を読み、登場する人物、事件、事項等について黙々とカードを作成していった。おそらく2,000枚以上にもなっていたとおもう。そうして書き上げた400字詰め原稿用紙で450枚（もちろん手書き）の修士論文が評価されて、京都大学人文科学研究所に助手として採用された。今からおもえば、月賦といい、扱った史料といい、就職といい、すべての面で貧しいけれど、「牧歌」的な時代だった。

1980年、わたしはブリティッシュ・カウンシルの給費生として留学し、ウェストミンスター国会議事堂の中にある、貴族院図書館の狭い閲覧室で、ロイド・ジョージをはじめとする大物政治家の直筆の書簡等の、活字化されていない「生」の史料を読むことができた。頼めばコピーもしてくれたが、基本は鉛筆（資料の保全のため、それ以外は禁止）による筆写だった。

1985年、中央大学に就職した。英文学の富山太佳夫氏と同じように、わたしもこの大学のイギリス関係の蔵書の充実ぶりに圧倒された。まず、第一次世界大戦に関連する「マイクロフィルム」を読み、イギリスで読んできた一次史料と絡めて、論文を仕上げることができた。そのうえで、19世紀のコレラの流行を取り上げることにして、イギリス議会の調査報告書、Parliamentary Papersに取り組んだ。この史料は、そのすべてをおさめた「マイクロフィッシュ」と、いくつかのテーマについてセレクトしたもののリプリントがあるが、中央大学にはその両方が所蔵されていた。必要なものをせっせとコピーし、「ワープロ」（パソコンではない！）で原稿を書いた。

ついで、1666年のロンドン大火を手掛かりとして、17世紀イギリスの歴史に取り組むことにした。Early English Books (EEB) が中央大学に所蔵されていたのが、その最大の動機である。これは、1473～1700年にイギリスで出版された文献を網羅的にマイクロフィルム化したものである。カタログで必要な文献の所在を確認しては、マイクロリーダーでコピーする作業を積み重ね、一冊の本をまとめることができた。

2000～2001年、在外研究の機会をいただき、オックスフォードに滞在した。その最初の半年は、ボードリアン図書館の、デューク・ハンフリーと呼ばれる貴重書閲覧室にこもった。ある学会において英語で発表する羽目になり、材料として「地震」の記述を集めようとしたのである。かの国の研究書で、「古事物学」の存在を知り、おそらく地震のことも登場するに違いないと「ヤマカン」をはたらかせ、まずウィリアム・カムデンの『ブリタニア』（1695年版）に手を付けた。ところが、「地震」という単語がなかなか出てきてくれない。正直、焦った。そしてついに206ページまで来たところで、その第一号を発見した。暗い閲覧室のなか、グッとくるものがあつた。今なら絶対にしないであろう「手作業」だった。

21世紀、中央大学図書館も、紙・マイクロ媒体と電子媒体の並存段階に移行した。EEBについても、そのオンライン版である EEBO を購入した。慣れ親しんだマイクロフィ



■中央大学図書館所蔵資料

上:「Early English Books」に収録されている資料の冊子版(リプリント)

下:「Early English Books」のマイクロフィルム

ルムは「塩漬け」となってしまった。さらに、故嶺卓二東京大学名誉教授のご寄付で、EEBOの18世紀版であるECCOを購入することができた。このご寄付の経緯については、本誌、2012年11月の第20号の座談会を参照されたい。

(<http://www.chuo-u.ac.jp/library/about/publication/mycul/>)

こうして、印刷革命の時代からフランス革命の時代までのイギリスの出版物を、居ながらにして手軽に閲覧すること

が可能になったのである。実際、その検索機能をトライしてみたが、その便利さには素直に感動した。あれだけ苦労した「地震」も瞬時にヒットした。以下の紹介を読み、是非、利用してほしい。

とはいえ、検索機能で「情報」を楽しく収集すること、その情報を咀嚼して、たまには消化不良も味わいつつ、「知識」として自分のなかに蓄積することとは違うということだけは忘れないようにしたい。

イギリス関連データベース紹介

イーボ EEBO Early English Books Online

1473～1700年に英語または英国で刊行されたほぼ全ての書籍について、全文をイメージデータで収録したデータベース。

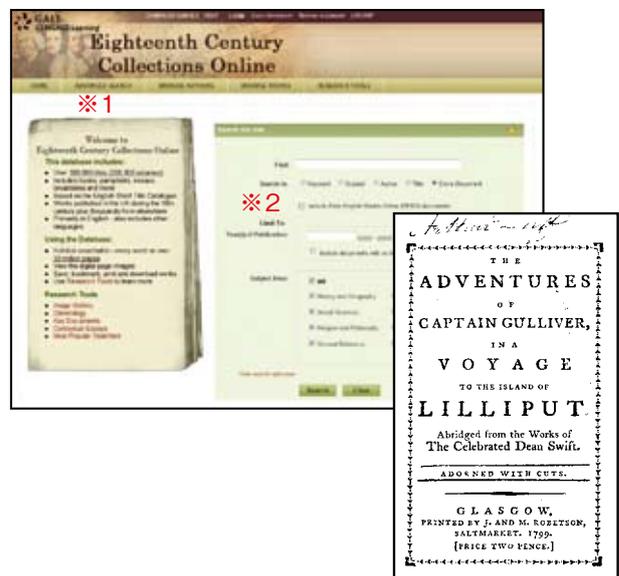
Pollard & Redgrave の Short-Title Catalogue (1475-1640)、Wing の Short-Title Catalogue (1641-1700)、Thomason Tracts (1640-1661) に含まれる約125,000タイトルのほとんどを収録しています。



エコー ECCO Eighteenth Century Collections Online

1701～1800年に英国およびその植民地で刊行された印刷物と、それ以外の地域で刊行された英語印刷物を収録したフルテキストデータベース。

異版も多数収録していますので、複数の版を確認できます。



※2 EEBO と ECCO は横断検索が可能です。検索画面の「include records from ECCO in your search」または「include Early English Books Online (EEBO) documents」のチェックボックスを選択することで、1473～1800年の資料をまとめて検索することができます。

以下のデータベースも ぜひお試しください

モム MOMW I, II The Making of the Modern World

1450～1914年に刊行された社会科学系学術図書コレクションのデータベース。

ライオン LION Literature Online

8世紀から現代までの多くの英米文学作品のフルテキストを収録し、専門雑誌、評論集、参考書籍など研究に必要な情報を幅広く集めているデータベース。

＜図書館ホームページトップ画面＞



※ 図書館ホームページ「データベース検索」からご利用ください。<http://www2.chuo-u.ac.jp/library/databasetop.htm>

新収資料紹介

①教職員著作目録 2012.11 - 2013.5 配架図書一覧 () は所属学部等

著者名	書名	出版社	配架場所	請求記号	
渥美 東洋 (名) 椎橋 隆幸 (法), 中野目 善則 (法務), 小川 曾 綾 (法務), 柳川 重規 (法), 堤 和通 (総), 安井 哲章 (法) ほか	編 執筆	「第四修正関係」: 捜索・押収 (日本比較法研究所研究叢書 84・米国刑事判例の動向IV: 合衆国最高裁判所判決)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	327.953/A95
渥美 東洋 (名), 椎橋 隆幸 (法) 渥美 東洋 (名), 小川 曾 綾 (法務), 椎橋 隆幸 (法), 堤 和通 (総), 中野目 善則 (法務), 安井 哲章 (法), 柳川 重規 (法) ほか	編 執筆	刑事訴訟法基本判例解説	信山社	中央書庫 / 開架	327.6/A95
ドナルド・キーン 新井 潤美 (法)	著 訳	日本文学史 近代・現代篇B (中公文庫 [キ-3-25])	中央公論新社	中央小型 開架文庫	910.2/Ke18 中公文庫 / キ-3-25
余 華 飯塚 容 (文)	著 訳	ほんとうの中国の話をしよう	河出書房新社	中央書庫 / 開架	924/Y72
飯田 朝子 (商)	著	ネーミングがモノを言う: あのヒット商品から「東京スカイツリー」まで	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	674/I26
良寛 池田 和臣 (文), 萬羽 啓吾 ほか	書 編著	あさの帖: 良寛禅師萬葉摘録	青簡舎	国文	728.215/R97/I32
石川 利治 (経)	著	経済空間の組成理論	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	332.9/I76
磯崎 初仁 (法)	著	自治体政策法務講義	第一法規	中央書庫 / 開架	318.1/I85
サリン M. ウィリアム ほか 伊藤 壽英 (法務) ほか	著 訳	アメリカの法曹教育 (日本比較法研究所訳叢書 64)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	327.953/Su55
池田 隆介 福見 武夫 (理) ほか	著 編	超伝導転移の物理 (シュプリンガー現代理論物理学シリーズ 4)	丸善出版	理開	427.4/I32
井上 義朗 (商)	著	二つの「競争」: 競争観をめぐる現代経済思想 (講談社現代新書 2174)	講談社	中央書庫 開架	331.2/I57 講談社現代新書 / 2174
井原 透 (理)	著	ナノ加工学の基礎	共立出版	中央書庫 / 理開	532/I25
上野 清貴 (商)	著	企業簿記の基礎 第2版	中央経済社	中央書庫 / 開架	336.91/U45
植野 妙実子 (理)	編著	法・制度・権利の今日の変容 (日本比較法研究所研究叢書 87)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	321/U45
内野 正幸 (法務)	著	人権の精神と差別・貧困: 憲法にたもって考える (世界人権問題叢書 83)	明石書店	中央書庫 / 開架	323.01/U22
宇野 典明 (商)	著	新保険論: 保険に関する新たな基礎理論の構築	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	339.01/U77
ヒルマ マルティン 会社役員育成機構 大杉 謙一 (法務) ほか	著 監訳 監修	戦略経営マニュアル: 取締役会を成功させる実践ツール集	レクシスネクシス・ ジャパン	中央書庫 / 開架	335.43/H58
Stephen A. Ross, Randolph W. Westerfield, Jeffrey F. Jaffe 大野 薫 (会計)	著 訳	コーポレートファイナンスの原理	金融財政事情研究会	中央書庫 田町会計	336.8/R73
大野 薫 (会計)	著	モンテカルロ法によるリアル・オプション分析: 事業計画の戦略的評価	金融財政事情研究会 きんざい (販売)	開架 / 田町会計	336.8/O67
大村 雅彦 (法務)	著	比較民事司法研究 (日本比較法研究所研究叢書 89)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	327.953/O64
奥田 弘弘 (法務), 鈴木 博人 (法)	著	養子縁組あっせん: 立法試案の解説と資料	日本加除出版	中央書庫 / 開架	324.632/O54
クワン・オユル 奥本 勝彦 (商) 児嶋 隆 (商) ほか	著 監訳 訳	韓国の国際ビジネス: グローバル時代の市場変革	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	332.21/Kw
小塩 節 (名)	著	旅人の夜の歌: ゲーテとワイマル	岩波書店	中央書庫	940.2/G56/O77
落合 誠一 (法務) ほか	著	総則・商行為 第5版 (有斐閣 S シリーズ 19, 商法 1)	有斐閣	中央書庫 / 市ヶ谷法務	325/Sh95
ジェルメーン・ティヨン ツグエタン・トドロフ 小野 潮 (文)	著 編 訳	ジェルメーン・ティヨン: レジスタンス・強制収容所・アルジェリア戦争を生きて (叢書・ウニベルシタス 982)	法政大学出版局	中央書庫	289/Ti4
日本計算工学会 竹内 則雄, 嵯山 和男 (理), 寺田 賢二郎	編 共著	計算力学: 有限要素法の基礎 第2版	森北出版	中央書庫 / 理開	501.3/N77
川戸 道昭 (理), 榊原 貴教	編著	世界文学総合目録 第9巻: 北欧・南欧諸国編	大空社: ナダ出版センター	参考	M903.1/Ka98
木田 元 (名)	著	ハイデガー拾い読み (新潮文庫 9515; き-33-2)	新潮社	中央小型 開架文庫	134.944/Ki12 新潮文庫 / き-33-2
黒田 巖 (商)	著	通貨・決済システムと金融危機 改訂版	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	338/Ku72
広田 照幸, 古賀 正義 (文), 伊藤 茂樹	編	現代日本の少年院教育: 質的調査を通して	名古屋大学出版会	中央書庫 / 開架	326.55/H74
小林 謙一 (文), 工藤 雄一郎, 国立歴史民俗博物館	編	縄文はいつから!? : 地球環境の変動と縄文文化 増補版 (歴博フォーラム)	新泉社	中央書庫 / 開架	210.2/Ko12
小林 道正 (名)	著	はじめの確率・統計 (基礎からわかる数学 3)	朝倉書店	中央書庫 / 開架	417/Ko12
小林 道正 (名)	著	「地震予知」にだまされるな! : 地震発生確率の怪	明石書店	中央書庫 / 開架	453.3/Ko12
小林 道正 (名)	著	数とは何か? : 1, 2, 3から無限まで, 数を考える13章 (Beret science)	ベル出版	中央書庫 / 開架	412/Ko12
企業価値評価研究会 紺野 剛 (会計) ほか	編 執筆	企業価値向上の戦略 (日本管理会計学会企業調査研究プロジェクトシリーズ No.9)	日本管理会計学会 企業調査研究委員会本部	中央書庫 / 田町会計	336/Ki16
齋藤 道彦 (経) 佐藤 元英 (文), 谷口 洋志 (経), 子安 加余子 (経), 原 正人 (法)	編著 執筆	中国への多角的アプローチ 2 (中央大学政策文化総合研究所研究叢書 14)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	302.1/C66
佐々木 信夫 (経)	著	日本行政学 = Public administration in Japan	学陽書房	中央書庫 / 開架	317.1/Sa75
斎藤 秀司, 佐藤 周友 (理)	著	代数的サイクルとエタールコホモロジー (シュプリンガー現代数学シリーズ 第17巻)	丸善出版	中央書庫 / 理開	411.8/Sa25
佐藤 鉄男 (法務) ほか	著	民事手続法入門 第4版 (有斐閣アルマ Basic)	有斐閣	開架 / 市ヶ谷	327.2/Sa85
佐藤 元英 (文), 武山 眞行 (文), 服部 龍二 (総)	編著	日本外交のアーカイブズ学的研究 (中央大学政策文化総合研究所研究叢書 16)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	302.1/C66
菅原 彬州 (法) 森 光 (法) 北井 辰弥 (法), 宮丸 裕二 (法), 矢澤 久純	監修 編著 執筆	超然トシテ独歩セント欲ス: 英吉利法律学校の挑戦 (125ライブラリー 006)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	377.3/Mo45
鈴木 隆介 (名)	著	火山・変動地形と応用読図 (建設技術者のための地形図読図入門 第4巻)	古今書院	中央書庫	454.9/Su96
妹尾 達彦 (文) 高 兵兵	著 訳	長安の都市规划 (長安文化国際研究叢書)	三秦出版社	中央書庫	222.048/Se76
妹尾 達彦 (文) 최재영	著 訳	장안은 어떻게 세계의 수도가 되었나	황금가지	中央書庫	ハングル /222.048/1423
新堂 幸司 高橋 宏志 (法務), 加藤 新太郎	監修 編	民事証拠法 (実務民事訴訟講座 第4巻)	日本評論社	中央書庫 市ヶ谷法務	327.2/J55
新堂 幸司 高橋 宏志 (法務), 加藤 新太郎	監修 編	証明責任・要件事実論 (実務民事訴訟講座 第5巻)	日本評論社	中央書庫 / 市ヶ谷法務	327.2/J55
高橋 宏志 (法務)	編	ポケット六法 平成25年版	有斐閣	中央書庫 / 開架	J320.91/Ka86
高橋 宏志 (法務)	著	重点講義民事訴訟法 第2版	有斐閣	中央書庫 / 開架	327.2/Ta33
多喜 寛 (法)	著	慣習法と法的確信: 民法法と国際法の視座から (日本比較法研究所研究叢書 85)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	322.8/Ta71
ヒース ショセフ 瀧澤 弘和 (経)	著 訳	ルールに従う: 社会科学の規範理論序説 (叢書「制度を考える」)	NTT 出版	中央書庫 / 開架	150/H51

著者名	書名	出版社	記架場所	請求記号
ロバート・O・コヘン ほか 滝田 賢治 (法)	著 ハワーと相互依存	ミネルヴァ書房	中央書庫 / 開架	319/Ka53
武智 秀之 (法)	著 政策学講義：決定の合理性	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	301/Ta58
白井 利明, 都筑 学 (文), 森 陽子	著 やさしい青年心理学 新版 (有斐閣アルマ)	有斐閣	中央書庫 / 開架	371.47/Sh81
鳥居 伸好 (総), 佐藤 拓也 (総) 一井 昭 (名), 米田 貢 (総), 平野 健 (商), 鳥居 伸好 (総), 秋保 親成 (総), 佐藤 拓也 (総), 松橋 透 (商) ほか	編著 グローバル化と日本資本主義 (中央大学経済研究所研究叢書 57)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	332.106/To67
長尾 一弘 (名)	著 基本権解釈と利益衡量の法理 (日本比較法研究所研究叢書 86)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	323.01/N17
ブリジット リオン, セシル ミシェル 渡井 葉子 中田 一郎 (名)	編訳 楕形文字をよむ (ルネ・ジノヴェス考古学・民族学研究所叢書)	山川出版社	中央書庫 / 開架	829.71/L66
ブリュシュトック サビーネ ほか 長野 ひろ子 (総) 長野 麻紀子 ほか	編著 日本人の「男らしさ」：サムライからオタクまで「男性性」の変遷を追う	明石書店	中央書庫 / 開架	367/F49
中野 善則 (法務) 渥美 東洋 (名)	編 国際刑事法：国境を越える犯罪への対処 (日本比較法研究所研究叢書 90)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	329.8/N39
永見 文雄 (文)	著 ジャン＝ジャック・ルソー：自己充足の哲学	勁草書房	中央書庫 / 開架	135.48/N15
日本国際経済法学会 柏木 昇 橋崎 みどり (法), 阿部 道明 (法務) ほか	編 取引・財産・手続 (国際経済法講座：日本国際経済法学会創立20周年記念 2)	法律文化社	中央書庫 / 市ヶ谷法務	333.6/N77
本沢 巳代子, 新田 秀樹 (法)	編 トピック社会保障法 第7版	不磨書房 信山社 (発売)	開架 / 市ヶ谷法務	364/Mo93
畑尻 剛 (法), 工藤 達朗 (法務)	編著 ドイツの憲法裁判：連邦憲法裁判所の組織・手続・権限 第2版 (日本比較法 研究所研究叢書 88)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	327.934/H41
高原 明生, 服部 龍二 (総)	編 政治 (日中関係史：1972-2012；1)	東京大学出版会	中央書庫 / 開架	319.1022/N88
服部 健治 (戦略), 丸川 知雄	編 経済 (日中関係史：1972-2012；2)	東京大学出版会	中央書庫 / 開架	319.1022/N88
服部 龍二 (総)	著 昭和「外交敗戦」の教訓：なぜ、日米開戦は避けられなかったのか (NHK さ かのぼり日本史 外交篇 2)	NHK 出版	中央書庫 / 開架	319.1/H44
折田 正樹 服部 龍二 (総), 白鳥 潤一郎	著 湾岸戦争・普天間問題・イラク戦争 (外交証言録)	岩波書店	中央書庫 / 開架	319.1/O71
カール・コリノー 早坂 七緒 (理) ほか	著 ムージル：伝記 (叢書・ウニベルシタス 915)	法政大学出版局	中央書庫 / 開架	940.2/Mu85/C88
兵藤 宗吉 (文), 須藤 智 野内 類 ほか	編 認知心理学基礎実験入門 改訂版	八千代出版	中央書庫 / 開架	141.5/H99
保坂 俊司 (総)	監修 図解比べてわかる！世界を動かす3宗教：ユダヤ教・キリスト教・イスラム教	PHP 研究所	中央書庫 / 開架	161.9/H91
細野 助博 (総) 工藤 裕子 (法) ほか	編著 新たなローカルガバナンスを求めて：多角的アプローチからの試み	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	302.1/C66
戦略研究学会 原田 保, 三浦 俊彦 (商), 高井 透	編著 コンテクストデザイン戦略：価値発現のための理論と実践 (叢書アカデミア 4)	芙蓉書房出版	中央書庫 / 開架	675.2/H32
村岡 晋一 (理)	著 ドイツ観念論：カント・フィヒテ・シェリング・ヘーゲル (講談社選書メチエ 531)	講談社	中央書庫 / 開架	134.3/Mu55
森岡 実穂 (総)	著 オペラハウスから世界を見る (125ライブラリー 007)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	766.1/Mo62
森信 茂樹 (法務)	著 消費税、常識のウソ (朝日新書 369)	朝日新聞出版	中央書庫 開架	345.7/Mo59 朝日新書 / 369
森松 健介 (名)	著 イギリス・ロマン派と「緑」の詩歌：ゴルドスミスからキーツまで	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	931/Mo54
矢島 正見 (文)	著 戦後日本青少年問題考	青少年問題研究会	社会情報	371.47/Y16
インゴ・ゼンガー 山内 惟介 (法)	編訳 ドイツ・ヨーロッパ・国際経済法論集 (日本比較法研究所訳叢書 65, ゼンガー 教授講演集 2)	中央大学出版部	中央書庫 / 開架	333.6/Sa14
山口 真美 (文), 柿木 隆介	編 顔を科学する：適応と障害の脳科学	東京大学出版会	中央書庫 / 開架	491.371/Y24
堤 玄太 山下 真史 (文) ほか	著 秋原朔太郎「意志」の覚醒	森話社	中央書庫 / 国文	911.5/H14/Ts94
中島 敦 山下 真史 (文), 村田 秀明	著 校訂・注 中島敦「李陵・司馬遷」定本篇	中島敦の会 神奈川近代文学館 (発売)	国文	913.6/N34
中島 敦 山下 真史 (文), 村田 秀明	著 編集・解 題 中島敦「李陵・司馬遷」図版篇	中島敦の会 神奈川近代文学館 (発売)	国文	913.6/N34
山田 昌弘 (文)	著 ここがおかしい日本の社会保障 (文春文庫 [ヤ・39-3])	文藝春秋	中央小型 / 田町文系	364/Y19
唐津博 ほか 米津 孝司 (法務), 川田 知子 (法) ほか	編 執筆 総論・労働組合法関係 (労働法重要判例を読む 1)	日本評論社	開架 / 市ヶ谷法務	366.18/Ka63

* (法)：法学部、(総)：経済学部、(商)：商学部、(文)：文学部、(総)：総合政策学部、(理)：理工学部、(法務)：法務研究科、(会計)：国際会計研究科、(戦略)：戦略経営研究科、(研)：研究開発機構教授、(名)：名誉教授
*記架場所は2ヶ所までとした

② 最近収集した重要コレクション・貴重書より

書名	請求記号
支那派遣軍総司令部函獲資料コレクション	準貴重書 210.7/Sh58
日中戦争期に中国大陸に派遣された「支那派遣軍」が現地で遺棄した資料群。国民党の刊行物や兵器の取扱指示書、日記、それらの日本語訳等の一次史料1319点から成る。	
書名	請求記号
鞭と獨楽 / 埴谷雄高著 (1957年未來社刊、高橋幸雄宛献呈署名入)	準貴重書 914.6/H29
[埴谷雄高自筆草稿] 高橋幸雄の純粋性 / 埴谷雄高[著]	準貴重書 K914.6/Ta33/H29
作家・評論家の埴谷雄高(1909-1997)は、元本学理工学部教授永井善次郎(筆名・佐々木基一)らと文芸雑誌「近代文学」を創刊し、戦後日本の文壇と思想界に大きな影響を与えた。代表作はその難解さで知られる未完の大長編小説「死霊」。一方、本学法学部教授として長きにわたり教鞭を振るったドイツ文学者高橋幸雄(1912-1983)は、「近代文学」同人としても活動し2冊の短編集を刊行した「文人教授」であり、埴谷とは戦前に雑誌「構想」を共に創刊するなど長年の交流があった。	
書名	請求記号
[堀辰雄自筆書簡(葉書)]: [永井善次郎宛1945年12月27日]/ 堀辰雄[筆]	準貴重書 K289/H87
代表作「風立ちぬ」が宮崎駿監督の同名アニメ映画のモチーフとなった作家・堀辰雄(1904-1953)の書簡。宛先の永井善次郎(1914-1993)は本学理工学部教授として文学、美術、ドイツ語を担当する一方、「佐々木基一」の筆名で文芸評論家としても活躍した。堀の書簡には、当時永井・埴谷らが創刊を準備していた「近代文学」への期待などが記されている。	

貴重書・準貴重書の利用について

貴重書、準貴重書の閲覧は館長の許可を要するため、事前の手続きが必要です。詳しくは中央図書館2階カウンターにお問い合わせください。
なお、大学院生は指導教員の推薦状が、学部学生は指導教員の同伴が必要となります。

My Cul (マイ・クル)
中央大学図書館広報誌 No.22
(2013年11月発行)

編集発行 中央大学図書館
〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1
TEL.042-674-2546

URL: <http://www.chuo-u.ac.jp/library/>